

■実現学■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 143 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

143 目次

1. HP から：実現学
2. 今週のお知らせ：2 件
3. まつむら塾のご案内
4. 今週の予定
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. ブログから：実現学

新規事業の創出や新会社の設立、はたまた破たん処理のサポートから、個人起業のアドバイスに至るまで、支離滅裂ともいえる多様な取組を経て、開き直った僕は数年前から「起業支援活動家」と名乗るようになりました。

「実現学」とは、そんな僕が自ら編み出した学問というより発想法のようなものです。

■はじめに

実現とは、自分の「願いを叶える」ことであり、「願いが叶う・・・まぐれやギャンブル」とは違います。あらかじめ目的を描いてからその実現に挑むので、自分自身で成功を定義することになります。したがって、実現のイメージが具体的であればあるほど、成功の価値やその波及効果が見えてきます。その結果、広く関心を集めたり、賛同者や協力者を募ることができれば、実現の可能性も高まるでしょう。

ところが、とかく新しい夢は具体性に乏しく曖昧で、不備や不足だらけになりがちです。余分なものを削るのはたやすいが、足りないものを見つけるのは難しいことです。せめて、新たなイメージの完成形が漠然とでも描ければ、補うべき不足が見えてくるかも知れません。そこで僕は、何かが実現した時に完成するはずの「全てを網羅した表」を作ろうと考えました。その表を可能な限り埋めていけば、残った項目が自分の不足や弱みを知らせてくれます。そして、すべての欄に答えを埋めてその表を完成させれば、新たなビジョンの全体像が見えるはずです。

そんな私が目を付けたのは、5W1H と呼ばれる 6 つの疑問詞でした。言葉は世界を描くための道具なので、疑問詞はそのために必要なすべての疑問を網羅しています。一方で、すでに実現していることならば、いかなる疑問にも答えることができるはずです。ならば、全ての疑問詞を役割ごとに整理して、あらゆる物事を説明できる世界を網羅する表を作ればいい。これから挑む実現イメージについて、答えられない空欄を埋めることが、イメージ作りの道標となるはずです。

■実現チャート

こうした発想から「実現チャートの原型」が2006年に誕生しました。

当初は「起業マインドサイト」と名付け、IID 世田谷ものづくり学校などでワークショップを開催しましたが、その後アントレハウスプロジェクトで引き継いで「実現学」というメソッドにたどり着きました。

	領域	疑問詞	意味	分類	品詞	内容
自分の疑問	What	なに	思考	名詞		実現イメージの名前
	Why	なぜ	感覚	形容詞		目的、理由
	How	どう	行動	動詞		方法
世界の疑問	Who	だれ	人間	名詞		関係者とその役割
	Where	どこ	空間	形容詞		現場、背景の様子
	When	いつ	時間	動詞		シナリオやスケジュール

実現の規模は様々で、たった一つの作業手順から、壮大なプロジェクトの全体まで、何でも構いません。まずはじめに、自分が目指す実現イメージを、自分の疑問と、世界の疑問に展開します。そして、チャートの空欄を埋めていくことで、実現の様子が具体的に浮かび上がってきます。あとは、そのイメージがあなたの願いと一致しているかどうか、あなたの心に確認します。自分の願いと世界の願いが一致した時、その願いはみんなの願いとなって歩き始めることでしょう。

■カリキュラム

この仕組みを利用して、実現学では次の4つの講座を実施しています。

起業編

実現チャートの仕組みと使い方を学びながら作成することで、新しい実現イメージを描く

交流編

実際にコミュニケーションしながら実現チャートを作成することで、実現イメージを具体化する。

地域編

地域社会に当てはめながら、実現チャートを作成することで、事業イメージを具体化する。

創業編

講師の経験談を聞きながら、実現チャートを作成することで、事業イメージを具体化する。

新しい挑戦(起業)と初めての挑戦(創業)、自分の挑戦(交流)と世界の挑戦(地域)を網羅することにより、 $5 \times 4 = 20$ の切り口から、あなたのチャレンジを触発します。

(後略)

<http://nanoni.co.jp/juku/a/>

.....

2. 今週のお知らせ：2件

a. ただ今シンガポール旅行中

先週お伝えしたとおり、21（日）～24（水）はシンガポールを探索します。
頑張っって現地から発信したいと思います。

b. 名栗の森オーナーシップクラブ 1月例会

名栗の森オーナーシップクラブでは、毎月第4日曜日に例会を開催します。
今回はいつも通り、保全山荘で例会を行った後、「森の散策・石積み作業」を実施します。

■ 1月例会

日時：1/28(日) 10時集合：辻村屋保全山荘 埼玉県飯能市下名栗 1111-2
費用：一般 2,500円、会員及び同伴者無料 どなたでも参加できます。

.....

内容：通常例会+森の散策・石積み作業

10:00 ミーティング 山荘にて（今年度の活動予定について）

12:00 昼食（天気が良ければ名栗湖畔で）

13:00 名栗の森散策、石積み作業

15:00 解散

装備：山林内での軽作業ができる服装、軍手、石を運ぶ袋、筆記用具、お弁当

詳しくは <https://www.facebook.com/events/1950357921950910/>

.....

3. まつむら塾のご案内

■レギュラー講座

1名から参加できる、定例開催セミナー

料金 1コマ：3,000円(一人当たり)

人数 1名より開催

日時 毎週土曜日 ①10-11時、②11-12時、③15-16時、④16-17時、⑤19-20時、⑥20-21時

会場 笑恵館 東京都世田谷区砧 6-27-19

予約制：このメールに返信、またはタイムチケットで

<https://www.timeticket.jp/items/39813>

■グループ講座

松村がお好きな時間と場所にお邪魔する、グループで開催する、臨時セミナー

料金 1コマ：15,000円+交通費(総額)

人数 10名まで

日時 随時調整します。

会場 笑恵館 もしくはご自分で会場をご用意ください。

■オンライン講座

遠隔地でも参加できる、web やメールのやり取りで学ぶ質疑応答形式

料金 1,000 円/月 (閲覧のみは無料です)

日時 随時

場所 自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

.....

4. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

(月) 1/22 シンガポール旅行

(火) 1/23 シンガポール旅行

(水) 1/24 シンガポール旅行

(木) 1/25 ○作業日 終日笑恵館で面談可

17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議

(金) 1/26 ○作業日 午後から笑恵館で面談可

(土) 1/27 ○作業日 終日笑恵館で面談可

10-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)

(日) 1/28 ○作業日 飯能方面

10-15 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ例会

■その後のイベント

1/30-31 ★御宿グッドネイバーズ

2/03 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)

2/25 ★名栗の森オーナーシップクラブ例会

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。 <http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe...>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>